

# ベビーステーション 沿革

(敬称略)

- 
- 2014年 12月 「第9回企業&NPO協働アイデアコンテスト」最優秀賞受賞  
一番身近なコンビニが子育てママたちにとって便利ではないという現状に注目し、コンビニを子育ての仲間にすべくベビーステーション機能の構築や独自の商品開発を提案。
- 
- 2015年 4月 富士宮市より事業受託  
受賞を受け、富士宮市企画戦略課（当時未来企画課）より、市の地方創生事業の一つとして富士宮市とNPO法人 母力向上委員会（当時任意団体）協働での事業推進を提案頂き受託。
- 5月 特定非営利活動法人 中部プロボノセンターの支援開始  
協働アイデアコンテスト主催者である中部圏社会経済研究所・パートナーシップサポートセンターによる受賞5団体へのフォローアップ会（2015年3月）で特定非営利活動法人 中部プロボノセンター 戸成司朗代表理事と出会い、プロボノ支援を要請。2015年5月より約半年間の支援が決定。
- 7月 中部プロボノ支援により母力向上委員会の法人化を検討開始
- 11月 「第10回企業&NPO協働アイデアコンテスト」にて、受賞後の経緯を報告
- 12月 中部プロボノセンター最終報告会（公式支援終了）
- 
- 2016年 4月 母力向上委員会 法人化。 任意団体から、NPO法人 母力向上委員会へ
- 5月 (株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)ファミリーマートと富士宮市の間でふじのみやベビーステーション事業協力に関する協力協定締結
- 6月 富士宮市内コンビニ加盟店、公共施設に向けた登録講習会開催  
ベビステ認定登録開始
- 7月 ミニストップ(株)、(株)ローソンと富士宮市の間でふじのみやベビーステーション事業協力に関する協力協定締結
- 8月 富士宮信用金庫と富士宮市の間でふじのみやベビーステーション事業協力に関する協力協定締結  
  
富士宮信用金庫北支店、道の駅あさぎり高原が富士宮市認定 民間施設の先行モデルとして登録
- 11月 第1回中部まちづくりパートナーシップ大賞 グランプリ受賞
- 
- 2017年 2月 静銀セゾンカード主催「しずおか元気活動コンテスト」優秀賞受賞
- 3月 ベビ\*ステ登録店舗数 計32店舗
- 6月 アサヒ飲料(株)様より企業版ふるさと納税として、富士宮市のベビ\*ステ関連事業へ寄付を受ける
- 7月 第一回 ベビ\*ステ レシート抽選会開催
- 8月 「ベビ\*ステ」のロゴを商標登録
- 11月 レンタルベビ\*ステ開始

- 
- 2018年 2月 ふじのみやハハラッチと協働で「ふじのみやこどもと一緒におでかけMAP」作成
- 3月 第二回 ベビ＊ステ レシート抽選会開催  
ベビ＊ステ登録店舗数 計47店舗
- 6月 NPO認定型ベビ＊ステ 登録開始  
NPO法人母力向上委員会が認定するベビーステーション。市内だけにとどまらず市外、県外へベビーステーションの輪が広がり、子育てしやすいまちづくりへの貢献をめざす。
- 7月 第三回 ベビ＊ステ レシート抽選会開催
- 8月 アサヒ飲料(株)様より企業版ふるさと納税として、富士宮市のベビ＊ステ関連事業へ寄付を受ける
- 9月 ベビ＊ステ寄付型自動販売機 募集開始  
アサヒ飲料(株)のご協力により、販売手数料の一部が当事業に寄付される自販機の設置を事業者向けに開始。
- 10月 レンタルベビ＊ステ よなよなエール「超宴」@お台場 出店
- 
- 2019年 1月 レンタルベビ＊ステ 新春ユニオンフェスタ @本田技研鈴鹿工場 出店
- 2月 (株)アリエ様より企業版ふるさと納税として、富士宮市のベビ＊ステ関連事業へ寄付を受ける
- 3月 ベビ＊ステ登録店舗数 計64店舗
- 8月 アサヒ飲料(株)様より企業版ふるさと納税として、富士宮市のベビ＊ステ関連事業へ寄付を受ける  
ベビ＊ステFamily carnival開催
- 10月 第四回 ベビ＊ステ レシート抽選会開催
- 
- 2020年 1月 北村誠吾 内閣府特命大臣（地方創生担当大臣）がベビ＊ステ視察  
静岡県の地方創生の取組み視察として、富士宮市に来訪。
- 3月 ふじのみやベビーステーション事業 社会的インパクト評価報告書 発行  
ベビ＊ステ登録店舗数 計75店舗